

天

LOS SOBREVIVIENTES



「ルイス・ブニエルのブラック・コメディの衝撃！
激震の時代、生き残りしものたちの宴がはじまる。」



の

晩

餐

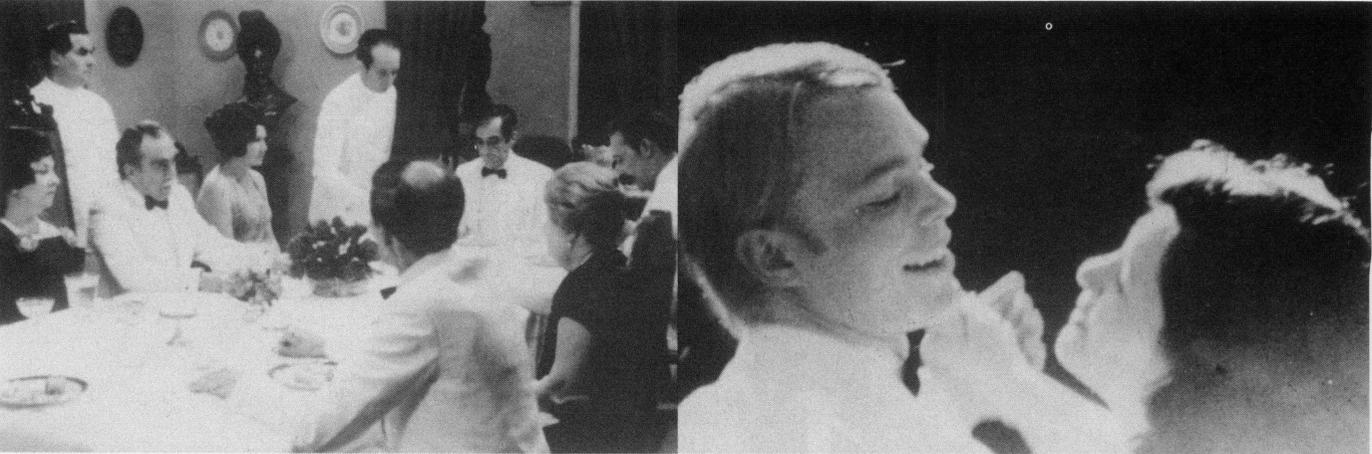
ラテンアメリカ映画界の巨匠
トマス・グティエレス・アレア監督作品

脚本 同トマス・グティエレス・アレア
アントニオ・ベニテス・ロホ
コンスタンテ・ディエゴ
マリア・エウヘニア・アヤ
撮影 同マリオ・ガルシア・ホヤ
編集 同ネルソン・ロドリゲス
音楽 同レオ・フロウエル
出演 同エンリケ・サンティエスタバン
ファニータ・カルデビージャ
レイナルド・ミラバジェス
ビセンテ・レブエルタ

キューバ・ICAIC(キューバ映画芸術・産業庁)
1978年製作/カラー/ヴィスタサイズ
1時間50分/配給 株式会社シネマライブラリー

81年アメリノ国際映画祭前衛的ネオリアリズム映画賞





LOS SOBREVIVIENTES 天国の晩餐

ラテンアメリカ映画界の巨匠
トマス・グティエレス・アレア監督作品

脚本 ■ トマス・グティエレス・アレア / アントニオ・ベニテス・ロホ
 コンスタンテ・ティエゴ / マリア・エウヘニア・アヤ
 撮影 ■ マリオ・ガルシア・ホヤ
 編集 ■ ネルソン・ロドリゲス
 音楽 ■ レオ・プロウエル
 出演 ■ エンリケ・サンティエステパン / ファニータ・カルデビージャ
 レイナルド・ミラバジェス / ビセンテ・レブエルタ

キューバ・ICAIC (キューバ映画芸術・産業庁) 1978年製作 / カラー /
 ヴィスタサイズ / 1時間50分 / 配給 株式会社シネマ・ライブラリー

解説

トマス・グティエレス・アレア監督はキューバ映画の建設者であり、ラテンアメリカ映画界を代表する巨匠。1928年ハバナに生まれ、ローマの映画実験センターでネオリアリズムの洗礼を受け、革命後初の長編劇映画「革命の歴史」(1960)、官僚主義の痛烈な風刺「ある官僚の死」(1966)、歴史にとり残された小市民を描く「いやしがたい記憶」(1969)などで、キューバ映画を国際的にする。そのアレア監督が1959年1月の革命後、古い世界の“天国”に安住しようとして滅びゆく旧勢力を「ルイス・ブニュエルのブラック・コメディ」

(マイケル・チャナン)の衝撃で痛罵した傑作が「天国の晩餐」(原題「生き残りしものたち」)である。



ストーリー

1959年1月、キューバの独裁者バチスタは逃亡、カストロたちの革命が成功する。多くのブルジョワたちは国をはなれたが、セバ스티アンはじめオロスコ家の多くは国に留まる。オロスコ家は15世紀末にコロンブスがキューバに来て以来のスペイン植民者を先祖に持ち、広大な邸宅と農地を所有する旧家である。彼らは革命は決して永続しない、必ずアメリカの力でつぶされると信じ、そのときが来るまで革命前の体制のままでがんばり続けようとする。多くの召使や農夫をいままで通り働かせ、カトリックの儀式もそのまま、華やかなパーティも昔通りだ。そのパーティで知り会ったセバ스티アンの娘フィナとビセンテの結婚。1961年4月、米CIAの傭兵部隊がキューバに侵攻、オロスコ家は狂喜したが、侵攻軍はたちまち敗北。1962年10月、ケネディ大統領がソ連ミサイル配備を理由に“キューバ封鎖”を宣言、核戦争の瀬戸ぎわまでいくが、危機は回避される。オロスコ家の夢はつぎつぎに崩壊し、召使や農民は逃げ出す。セバ스티アンの死後、ビセンテが当主となった一家は、みずから働かざるを得ない。飢えと狂気が“天国の晩餐”を滅びの影で染め上げていき、人間は退化の道を進む。そして彼らの“天国”最後の日が……。

'88年1月中旬より新春ロードショー! 二館共通特別鑑賞券1,200円発売中 (当日一般1,500円・学生1,300円の処)

特別鑑賞券は都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあ、セゾン系各劇場他でお求め下さい。グループ鑑賞のお申し込みは(株)メイジャー ☎03(541)2508まで。

キネカ大森

大森駅東口・西友5階 ☎03(762)6000

連日 12:00 2:20 4:40 7:00 土曜レイトショー 9:20

●自由席定員制・入替制

キネカ錦糸町

錦糸町駅南口・西武7階 ☎03(631)3121

連日 11:50 2:05 4:20 6:35 土曜レイトショー 8:50